

ネブカ祭り

6年1組 2班

1. 提案のきっかけ

川西町の鬼ま力を伝えるために、どんなイベントがあるか
よいかをグループで話し合った。話の中で、祖母と行
った流しそうめん祭りのことを思い出した。この祭りでは
流しそうめんはもちろん、トマトを流す「流しトマト」もあって、
初めての体験でおもしろかったことを覚えている。

また、子供向けにかき氷もあって、それもとてもおいしかった。

他にも、その町の特産品を多く売っている祭りもあった。
川西町の特産品にもネブカがあるので、町外の人にも
知ってもらいたいと考える。そこで、流しそうめんと糸吉山崎ネ
ブカを合わせたイベントができれば、川西町に多くの人が
来て、町の鬼ま力やネブカのよさが伝わると思う。

そこで、私たちのグループでは、次の3つの提案を

2. 提案

(1) ネブカ料理を紹介

ネブカを他の町や県の人に広げたいか、ネブカだけをくばら
ても、ほんとうに美味しいと思ってもらえるのだろうか、ということか
ら、ネブカだけでなくネブカの料理をくばることを提案とする。
このコーナーでは、ネブカの料理のレシピカードも一緒にくばりたい
と思う。

具体的には、次の内容を書く

・ネブカの料理の屋台を出す。

・ネブカ料理のレシピカードを作る。

・ネブカ料理のレシピを作ることによって、またネブカ料理を食べたいと思った時に、また川西町にネブカを買いにくると考える。

(2)ネブカについて書いた紙を配る

ネブカについて知ってもらうために、ネブカについて書いた紙を配ることを提案する。その紙は、イベントに参加してくれた人に配りたい。

これは、ネブカを知っている人も知らない人にも、ネブカについて知ってもらいたいという理由からだ。

具体的に次のような内容を書くことを考えている。

・ネブカの特徴

・ネブカの利用法

ネブカについて書いた紙を配ることによって、ちがう町から来た人に、ネブカのことについて知ってもらうことができる。そうすることで、糸吉崎の鬼力を知ってもらうことができる。と考える。

(3)ネッピーのキーホルダーを作って配る

ネッピーというキャラクターを知ってもらうためにキーホルダーを配ることを提案する。そのキーホルダーはイベントに参加してくれた人に配りたい。

これは、ネッピーというキャラクターを知っている人も知らない人にもリュックなどにつけてほしいという理由からだ。

具体的には、次のような内容を書くことを考えている。

・ネッピーのいろいろな絵をかく

・いろいろな言葉を書く

このキーホルダーを配ることで、ちがう町などから来た人にネッピーのことについて知ってもらうことができる。そうすることで結崎のみかを知ってもらうことができると思う。

3 まとめ

1 私たちは、この学習をとおして、5人の提案を1つの提案文にした時、5人で話し合い、協力するという力を身につけました。

イベントが実現したら、川西町の良い所をいろんな人たちに知ってもらえると思います。

将来の馬尺は、美しくたくさんの方がいれ合い、活気あふれる馬尺になってほしいです。